



井上道義の 未来だった今より

♪ 产地偽奏？

一時、「産地偽装」が話題になつたが、よそで生まれた牛でも900日以上松阪周辺で育てれば「松阪牛」と呼ぶことができるなど、「本場の牛肉」とは何か、考えさせられた。クラシックでも「ウィーン何とか楽団ニューイヤーコンサート」は、実はウィーンと名乗っていても東欧やバルト三国の血がたくさん交じっている。でも、日本の楽団よりそれらしい味を出せる点もあり、「産地偽奏」と知りつつも切符を買ってしまう。

お隣の国の有名ブランド偽造、自動車デザインの物まねにとどまらず、子どもは始め、親や先生のまねから学んで育つ。先日レオナルドダヴィンチ展に行ったら、あのラファエルたちも、互いにまねをして描き、ほとんど見分けがつかない。後世の学者がそれらを見分けるため一生を費やすらしい。これってなんだ？

本場ロシアの指揮者ならショ

スタコーヴィッチが俺より芯が通っているか、本当にうまいか？　冗談じゃない！　でもどこ の楽団が最高にうまいかなんて議論は全く意味がない。ベルリンフィルを聞いても大体は「おじょうず」とわかるだけで、感動させる演奏の割合はどこのオケとも同じ。世の中どんな芸人、アーティストでもどこどこ大学出身で誰に学んだと言う事がプロフィルに書いてある。すなわち履歴書。だが同じバックグラウンドでも皆一人ひとり味もうまさも違うからほとんど意味がない。学校での経験なんて普通何の役にも立たない。

現場で人の心に矢を射るのは愛情と同じで、毎回の表現意欲、集中。それも痛いほどのそれ！ 一步さがってみると馬鹿らしいが、人の評価価値はそれだけ。ブランドアーティストなんていないのだ。

(オーケストラ・アンサンブル)
金沢音楽監督

金沢市は、独自に道路の幅を決めたり、標識の大きさを小さくしたりする基準を定めた条例づくりを始めた。歴史的な町並みなどを主眼に置いて、金沢ならではの道路をめざす。

道路の構造は、国交省が定める道路法の道路構造令や標識令の基準に基づき決められている。だが、2006年に定められた地方分権改革推進法や11年の地域主権改革関連法で、自治体は、一部項目をのぞき独自に基準を設けることができるようになった。

的な町並みの保全▽安心で安全な道路▽歩行者や環境に優しい道――の3点をテーマに独自の基準条例を作ることにした。